

北海道東北臨床宗教師会

会員24人で発足

東北大実践宗教学寄附講座が行う臨床宗教師研修を修了した北海道と東北地区の24人を会員として、このほど「北海道東北臨床宗教師会」が発足した。2カ月に1度のペースで勉強会や研修会を開き、臨床宗教師としての能力の研さんや相互交流、情報交換の場として生かしていく。

12月20日に宮城県気仙沼市の金光教気仙沼教会で発足式が開かれ、同会

の発展と東日本大震災の

犠牲者の慰霊、被災地の

復興を祈った。その後、

市内の仮設住宅で開かれ

た傾聴喫茶「カフェ・デ

・モンク」に参加し、最

初の一步となる活動を行

った。

会員の宗教・宗派は様

々。病院や福祉施設とい

ったところのケアの現場

に入る方法を模索する人

もいれば、普段自分たち

が活動する寺院や教会で

の取り組みに生かしたい

という声もある。同会で

は、医療・福祉関係者を

講師に招いてニーズを探る他、互いの実践を紹介することを想定している。

同会代表の高橋悦堂・

曹洞宗普門寺（同県栗原

市）副住職は、「生老病

死の全ての苦に寄り添え

るのが宗教者。現状は修

了生を対象とした会だ

が、被災地では個人で様

々な苦と向き合っている

宗教者は多い。連携を模

索し、共に歩める下地と

なっていければ」と語

る。

事務局は、仙台市若林

区の曹洞宗洞林寺内（E

メール＝ht.rinshushikai

@gmail.com）に置▼。